



藤田 玲

勤務先：

株式会社エコニクス
環境事業部
〒004-0015 札幌市厚別区
下野幌テクノパーク1-2-14

TEL 011-807-6811

FAX 011-807-6800

E-mail：r-fujita@econixe.co.jp

専門：環境部門（自然環境保全）

自己PR：この度、技術士となりました藤田です。仕事は主に植物を対象にした調査・影響評価・保全対策の検討等をしております。技術者としてはまだまだ経験が浅く、特にPRする程の実績もございませんので、私が技術士を取得するまでの経緯について少し書きたいと思います。

技術士試験：技術士の試験を受けたのは、昨年が初めてでした。平成14年は願書を提出しましたが、業務が忙しく受験を断念しました。このため昨年は、忙しくても受験だけはしようと考えておりました。しかし、昨年も例年同様に現場が連続し、受験に対するモチベーションは日に日に低下していきましました。しかし、試験の4日前に先輩技術士から合格体験談を聞く機会があり、その熱意に動かされ、今から可能な限りの準備を行い、受験してみようと思決しました。

ここから猛勉強が始まりました。試験まで時間がないので通常の試験対策は、もちろん不可能でした。よって、試験対策には割り切りが必要でした。

まず経験論文、一般論文を1日かけてなんとか書き上げました。通常、作成した論文は先輩技術士に添削してもらいますが、私は敢えてしませんでした。試験の直前に真っ赤に修正された論文を当日、再現することは不可能と考えたからです。時間があれば100%に仕上げた論文を用意し、試験当日に60%の

合格ラインを超えれば良いという対策をとりますが、今回は時間がないため、内容が60%の論文を当日100%再現できれば良いと考えました。五択の選択問題については、準備する時間がないので、一次試験の勉強で頭に入れた知識のみで戦うことにしました。専門科目については、想定問題について論文をいくつか用意しようと試みましたが、出題範囲が広範囲なのと時間不足のため、途中からはキーワードを覚える方向に切り替えました。

そして、試験当日を迎えました。程よい緊張感のもと、マス目を埋めることだけに専念しました。この結果、なんとか筆記試験に合格することができました。専門科目の論文で、自分にとって書きやすい問題が出たのも合格した大きな要因の1つです。

次は口頭試験ですが、試験当日はかなり緊張し、所々詰まりましたが、なんとかクリアできました。口頭試験については先輩技術士にお願いした模擬試験がとても効果的でした。

昨年の筆記試験の受験率は、約60%でした。やはり、申し込みはしたけど、業務が忙しくて試験準備ができず受験を断念された方が多いのだと思います。でも、忙しくても決して受験をあきらめないでください。今から準備しても間に合わないと考えず、限られた条件の中で最大限の努力をやってみませんか。先輩技術士からは遅くても春から試験勉強を始めないと絶対受からないという話をよく聞かと思いますが、絶対ということはないのです。運が良ければ受かることもあるのです。

今後に向けて

技術士を取得して、早速、管理技術者として担当する業務があり、その責任の重さを日々感じております。技術士を取得したとはいえ、まだまだ未熟な部分が多々ありますので、今後も継続的に技術の研鑽に努めるとともに、先輩技術士のご指導、ご鞭撻をいただきながら、社会に貢献して行きたいと考えております。